

令和6年度 愛知工科大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)
自己点検・評価結果

点検項目	点検結果	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
プログラムの履修・修得状況	○	プログラム対象科目は必修科目であるため、履修率は高い。 修得状況は以下の状況で履修・修得状況に問題はないと評価できる。 全クラスの科目GPA平均 2.71、合格率の平均 87.8%、欠席超過率の平均 5.4%
学修成果	○	プログラム実施科目における授業評価アンケート項目の結果が良好であることから、学修成果が十分に得られていると評価する。なお、授業時間外での学習時間は、この科目に限らず全ての科目で向上させることが課題である。 令和6年度授業評価アンケート項目(5段階評価) 1. 全体として満足のいく授業・演習でしたか 全クラスの平均では4.08 2. 意欲的に授業に取り組みましたか。 全クラスの平均では4.08 3. この科目の授業時間以外での学修時間 全クラスの平均では3.19
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	○	授業評価アンケートにより学生の理解度を把握している。授業は適切であると評価できる。 令和6年度授業評価アンケート項目(5段階評価) 13. あなたはこの授業・演習の内容をどの程度理解できましたか。 全クラスの平均では3.98 14. 教材は授業・演習の理解に役立ちましたか。 全クラスの平均では4.07 15. 科目の到達目標を達成できましたか。 全クラスの平均では3.93
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	○	プログラム対象科目は必修科目であるため全員が受講対象となるが、授業評価アンケートによる回答においても問題はないと評価できる。 令和6年度授業アンケート項目(5段階評価) 22. この授業を次年度履修する学生に勧めたいと思いますか。 全クラスの平均では4.05
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	○	プログラム対象科目は必修科目としている。年度進行とともに修了者は増加する。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	○	プログラム対象科目は必修科目としている。構成する科目のなかで「学ぶことの意義」を徹底していく。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	○	以下の取り組みから内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とするための取組が十分に行われていると評価する。 ・授業評価アンケートの結果を科目担当者にフィードバックして改善を促している。 ・ベストレクチャーによる講演により、授業工夫の共有を図っている。 ・プログラム運営は教務委員会と対象科目担当者が連携して行い、令和6年2月に改訂されたモデルカリキュムへの対応を進める。
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	△	キャリアセンターが把握している進路・就職先の情報を利用して調査を行う。プログラムを修了した学生が社会に出るのは令和8年度末になる。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	△	学内企業研究会に参加する企業などにアンケートを実施して、数理・データサイエンス・AI教育への期待等を調査することを予定している。

「点検結果」の評価記号 ○:達成されている △:ほぼ達成されているが、改善の余地がある ×:達成されていない

2024/12/3

自己点検評価委員会